

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

# パレスチナの平和をつくる



～今起きていることを植民地主義の視点から考えてみよう～

イスラエル軍による軍事攻撃が激化し、封鎖下のガザでジェノサイドが進行しています。しかし、国際社会はこの深刻な事態を止めることができていません。多くのメディアは、紛争は10月7日のハマースの攻撃から始まりイスラエルの侵攻はテロとの戦いだとし、問題の核心について十分に伝えていませんでした。

パレスチナ問題の背景には何があるのか、私たちの社会がこれまで見過ごしてきたものを直視し、平和をあきらめないために今できることをともに考えましょう。

講師：岡 真理 さん（早稲田大学文学学術院教授）

日時：2024年 7月6日(土)16:00～7日(日)12:00

場所：関西セミナーハウス（裏面に地図）

参加費：12,000 円（1泊夕朝食込み、消費税、京都市宿泊税200円込）

- \* 宿泊は、2～3名1室を基本とします。個室ご希望の場合+1,000円ご負担ください。（申込の際ご希望をお知らせください。）
- \* 2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。（1,150円）
- \* Webサイト（申込フォーム）、Fax（裏面書式）、電話、メール等でお申込みください。
- \* 申込締切：6月30日(日)、または定員20名に達し次第。（締切日以降は、電話でお問い合わせください。）
- \* 部分参加については事務局にお問合せください。
- \* 前日以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

岡 真理 おか まり

早稲田大学文学学術院教授。パレスチナ人作家ガッサーン・カナファーニーの小説を通してパレスチナ問題、アラブ文学と出会う。エジプト・カイロ大学に留学、在モロッコ日本国大使館専門調査員、京都大学大学院人間・環境学研究科教授を経て現職。専門は現代アラブ文学・パレスチナ問題。

著書に『ガザとは何か パレスチナを知るための緊急講義』（大和書房）、『アラブ、祈りとしての文学』、『ガザに地下鉄が走る日』（いずれもみすず書房）ほか。

## ◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30～ 受付
- 16:00～ 第1セッション 「歴史と背景～ある日の報道から～」
- ・自己紹介、ミニワーク
  - ・岡さんのお話
  - ・はなしあいと 質疑応答
- 18:00～ 夕食・休憩
- 19:00～ 第2セッション 「占領と封鎖」
- ・ミニワーク
  - ・岡さんのお話
  - ・はなしあいと 質疑応答
- 21:00～ 交流会
- 【2日目】 8:00～ 朝食・チェックアウト
- 9:00～ 第3セッション 「パレスチナと私たち」
- ・ミニワーク
  - ・岡さんのお話
  - ・はなしあいと 質疑応答
- 12:00 終了予定

セミナー期間中、  
開発教育関連書籍  
の販売があります。



### ◇ 2024年度 開発教育セミナーこれからの予定

- 第3回 9月7日(土)～8日(日) 「私からはじめるアドボカシー～市民社会を築くために～」  
講師 加藤 良太さん (市民社会スペースNGOアクションネットワーク (NANCiS))
- 第4回 10月5日(土)～6日(日) 「市民から始める～難民と一緒に暮らせる街をめざして～」  
講師 田中 恵子 さん (NPO法人RAFIQ 難民との共生ネットワーク)

\*各プログラムの詳細は、当センターウェブサイトにも 随時掲載します。

### <主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

所長 神崎 清一

担当 都木 (とき)



ウェブサイト



[2024年度 第2回 開発教育セミナー申込書]

\* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅、北大路駅が便利です。

(フリガナ)			
名前	所属		
住所〒			
電話 ( )	-	FAX ( )	-
電子メール:	@		
◎宿泊室 1. 相部屋でよい 2. 個室希望 3. その他ご希望:			